

Broaden your horizons^⑬ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。さて先日、2回目の「次世代の薬剤師を創る会」が終了いたしました。1回目に立ち見が出たので、定員制にするとキャンセル待ちが出るほどの大盛況でした。

はじめにプレアポイド報告が9例ありました。ヒヤリハットではなく、プレアポイドです。薬剤師のやばかった報告ではなく、こんなふうには危険を回避したのですよというアピール報告です。これ、大事ですよ。そして、神戸大学医学部付属病院薬剤部長で、医師であり、薬剤師でもある平井みどり先生と漫才……もとい、「児島さんと漫才をしたい」という先生のご希望を丁寧にお断りし、薬剤師の職能拡大のご講演をしていただきました。

今後の医療現場では、チーム医療が基本です。例えば、チーム医療を料理に例えると? 鍋料理! みんなの持ち味が一体となり、何ともいえないよい味に。あるいは、カレーライス! ごはん(患者さん)をカレールー(他職種医療メンバー)が味付ける。そう、美味さが1+1=2ではなく、鍋もカレーも色んな具を入れると、5にも100にもなってしまうのです。これがチーム医療ですよ。

では、そんなチームメンバーとして、薬剤師に求められているものを平井先生は4つ挙げられました。

- ①薬物治療の適正化はもちろん、患者ケアのアセスメント能力
- ②薬剤使用による経済効果について
- ③患者や家族の気持ち・立場に配慮した薬剤業務
- ④チームのマネジメント力

フムフムフム。まさに医療経済とカウンセリング能力のことではないですか! そして、薬剤師がバイタルサインをとる意味は? 薬物治療に責任を持つのなら、患者の状態を診るのが当たり前です。薬を調剤したら、それがどうなったか興味を持つのが当たり前です。薬剤師よ、今こそバイタルサインをとれるようになれ!

その後のスキルアップ講座として、舞鶴共済病院循環器内科主任部長の児島成之先生から、薬剤師の内科学入門、聴診教室を実施していただきました。そこでの第一声は薬剤師の皆様、聴診をする前に視診をしましょう! でした。まず患者さんの顔をよく見て、そこから情報を得ていきましょう。色んなことがわかりますよ、という知識を伝授していただきました。確かに、視診なら今すぐ薬剤師も服薬指導時にできますよね。実はこの先生……私の旦那様です。別に私の顔を伺っているってわけじゃないはず~! 次回は11月22日です。お楽しみに。では!